

## 都道府県別ナラ枯れ被害量(被害材積)の推移(総数)

(単位:千m<sup>3</sup>)

年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	対前年度比
青森県	—	—	0.1	1.2	1.5	121%
岩手県	0.9	2.0	5.3	8.8	3.4	38%
宮城県	3.0	3.9	2.5	6.6	3.4	51%
秋田県	6.1	10.4	15.9	13.1	5.7	43%
山形県	2.8	2.4	5.1	4.5	0.9	20%
福島県	3.2	3.5	3.9	6.9	4.2	60%
群馬県	—	0.0	0.0	0.1	0.3	370%
千葉県	—	—	—	0.1	0.2	223%
神奈川県	—	—	—	0.2	1.0	410%
新潟県	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	55%
富山県	0.1	0.0	0.0	0.0	—	皆減
石川県	0.0	0.0	0.0	—	0.0	皆増
福井県	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	245%
長野県	1.6	0.8	0.2	0.2	0.3	151%
岐阜県	2.9	0.2	0.1	0.0	0.0	28%
静岡県	0.5	1.6	0.9	0.8	0.4	56%
愛知県	1.1	3.4	1.2	0.7	0.4	57%
三重県	0.6	0.7	1.0	1.9	0.9	47%
滋賀県	1.2	0.8	0.3	0.1	0.1	127%
京都府	3.0	2.4	2.3	1.1	0.4	33%
大阪府	3.6	12.4	5.7	3.2	2.1	63%
兵庫県	0.8	2.8	4.8	9.4	5.8	61%
奈良県	0.9	3.4	17.9	18.6	5.0	27%
和歌山県	0.2	0.4	0.2	0.4	0.5	115%
鳥取県	3.8	12.9	7.6	10.3	4.5	44%
島根県	2.3	1.3	0.8	1.0	0.5	53%
岡山県	0.2	0.5	0.8	1.4	1.7	126%
広島県	0.8	0.4	1.0	1.0	0.8	79%
山口県	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	124%
徳島県	—	0.1	0.1	0.0	0.1	324%
高知県	—	0.0	0.0	—	—	
長崎県	—	—	0.2	0.2	0.1	68%
宮崎県	0.2	5.0	1.0	0.3	0.1	18%
鹿児島県	0.5	11.0	4.3	0.5	0.3	60%
合計	41.0	82.8	83.6	93.1	44.8	48%

1 民有林については、都道府県からの報告による。

2 国有林(官行造林地を含む。)については、森林管理局からの報告による。

3 都道府県ごとに小数点以下第二位を四捨五入した。

4 四捨五入により合計と一致しない場合がある。

5 被害の発生していないものを「—」、50m<sup>3</sup>未満の被害が発生しているものを「0.0」としている。